

## お知らせ

愛媛大学医学部附属病院では、医学・医療の発展のために様々な研究を行っています。その中で今回示します以下の研究では、患者さんのカルテの記録を使用します。

この研究の内容を詳しく知りたい方や、カルテを利用することにご了解いただけない方は、以下の【お問い合わせ先】までご連絡下さい。

### 【研究課題名】

肝胆膵外科領域手術におけるポビドンヨードとオラネキシジングルコン酸塩による皮膚消毒での創感染発症率の後ろ向きコホート研究

【研究機関】 愛媛大学医学部

【研究機関の長】 杉山隆（病院長）

【研究責任者】 伊藤千尋（愛媛大学医学部 肝胆膵・乳腺外科 医員）

### 【研究の目的】

過去に当科で開腹での肝臓切除術および膵臓切除術を受けられた患者さんの診療録（カルテ）の情報を収集し、手術前の皮膚消毒薬の有効性について評価する研究を行うことといたしました。この研究は、2021年1月から手術前の皮膚消毒薬を、創部感染予防効果がより高いと報告されたオラネキシジングルコン酸塩に変更したことで、実際に手術創感染が減少しているかどうかを評価することを目的としたものです。その結果は今後の診療にも役立てられると考えています。

### 【研究の方法】

（対象となる患者さん）2019年1月から2022年12月に愛媛大学医学部附属病院を受診された方のうち開腹での肝臓切除術および膵臓切除術を受けられた患者さん

（利用するカルテ情報）性別、手術時の年齢、原疾患、良悪性、悪性疾患の p-Stage、身長、体重、BMI、ASA 分類、開腹既往歴、術式、手術時間、出血量、輸血の有無、胆道再建の有無、スキンステープラーの有無、術前の喫煙の有無、

術前の副腎皮質ステロイド使用の有無、術前の免疫抑制剤使用の有無、術前胆道ドレナージの有無、術前治療の有無と種類、術後合併症、手術部位感染の有無と種類、術後在院日数、消毒薬による有害事象の有無 等

**【個人情報の取り扱い】**

収集した試料・情報は名前、住所など患者さんを直接特定できる情報を削除いたします。そのため個人を特定できるような情報が外に漏れることはありません。また、研究結果は学術雑誌や学会等で発表される予定ですが、発表内容に個人を特定できる情報は一切含まれません。

<情報の管理責任者>愛媛大学医学部 肝胆膵・乳腺外科 伊藤千尋

さらに詳しい本研究の内容をお知りになりたい場合は、【お問い合わせ先】までご連絡ください。他の患者さんの個人情報の保護、および、知的財産の保護等に支障がない範囲でお答えいたします。

**【お問い合わせ先】**

愛媛大学医学部 肝胆膵・乳腺外科 伊藤千尋  
791-0295 愛媛県東温市志津川  
Tel: 089-960-5327